2015年1月1日～2019年12月31日の間に 当科において重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁置換 または僧帽弁形成術の治療を受けられた 16歳以上の方及びご家族の方へ

【重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に 関する多施設共同研究」へのご協力をお願い】

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学心臓血管外科学	教授	種本	和雄
研究分担者	川崎医科大学尊像血管外科学	特任教授	金岡	祐司
	川崎医科大学心臓血管外科学	講師	山澤	隆彦
	川崎医科大学心臓血管外科学	臨床助教	山根	尚貴

1. 研究の概要

本研究の主目的は重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して僧帽弁置換術と僧帽弁形成術の臨床成績を比較検討することです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年1月1日～2019年12月31日の間に川崎医科大学附属病院および共同研究機関で重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して待機的に僧帽弁置換術または僧帽弁形成術の治療を受けられた16歳以上の方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2023年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して待機的に僧帽弁置換術と僧帽弁形成術の治療を受けられた16歳以上の方で、研究者が診療情報をもとに診療録、心エコーのデータからその成績を分析し、長期的な効果、安全性を調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、エコー所見、術後の入院、再治療 等

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座 教授 國原 孝

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究終了から5年間、川崎医科大学心臓血管外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年9月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学 心臓血管外科学

氏名：種本和雄

電話：086-462-1111 内線 25517（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1189

E-mail：tanemoto@med.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織 >

研究代表機関名

東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座

研究代表者

國原 孝 東京慈恵会医科大学 心臓外科 主任教授

研究分担者

荒井 裕国 東京医科歯科大学 心臓血管外科 教授

松宮 護郎 千葉大学 心臓血管外科 教授

高梨 秀一郎 川崎幸病院・榊原病院 心臓血管外科 部長

夜久 均 京都府立大学 心臓血管外科 教授
小宮 達彦 倉敷中央病院 心臓血管外科 部長
佐田 文宏 中央大学 保健センター医療 管理者
松居 喜郎 華岡青洲記念心臓血管クリニック 院長
若狭 哲 北海道大学 循環器・呼吸器外科 教授
尾辻 豊 産業医科大学学長 第2内科学 教授
上嶋 徳久 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 心不全担当部長
種村 正 心臓血管研究所附属病院 臨床検査室 技師長
本村 昇 東邦大学 心臓血管外科学 教授

共同研究機関名

水戸済生会総合病院 心臓血管外科
埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科
JCHO 徳山中央病院 心臓血管外科
愛媛大学医学部附属病院 心臓血管外科
福岡和白病院
久留米大学外科学講座心臓血管外科
山梨県立中央病院 心臓血管外科
岡崎市民病院 心臓血管外科
高知医療センター 心臓血管外科
船橋市立医療センター 心臓血管外科
日大板橋病院 心臓血管外科
札幌心臓血管クリニック 心臓血管外科
札幌医科大学心臓血管外科
獨協医科大学 心臓血管外科
横須賀市立うわまち病院 心臓血管外科
静岡県立総合病院 心臓血管外科
名古屋ハートセンター 心臓血管外科
三重大学附属病院 心臓血管外科
和歌山県立医科大学 外科学第一講座
ツカザキ病院 心臓血管外科
香川県立中央病院 心臓血管外科
社会医療法人近森会 近森病院 心臓血管外科
長崎大学 心臓外科
熊本大学病院 心臓血管外科
鹿児島大学 心臓血管外科
琉球大学 胸部心臓血管外科
JA 北海道厚生連帯広厚生病院 心臓血管外科
埼玉石心会病院 心臓血管外科
君津中央病院 心臓血管外科
新潟大学医歯学総合病院 第二外科
新久喜総合病院
藤田医科大学 心臓血管外科
聖路加国際病院 心臓血管外科
名古屋大学 心臓外科
イムス東京葛飾総合病院

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科
心臓血管研究所附属病院 心臓血管外科
東京大学 心臓外科
佐久医療センター心臓血管外科
津山中央病院 心臓血管外科
練馬光が丘病院 心臓血管外科
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 心臓血管外科
京都第一赤十字病院 心臓血管外科
函館五稜郭病院 心臓血管外科
慶應義塾大学医学部 心臓血管外科
舞鶴共済病院 心臓血管外科
兵庫県立姫路循環器病センター 心臓血管外科
獨協医科大学埼玉医療センター 心臓血管外科
東京医科大学 心臓血管外科
福田総合病院 心臓センター
心臓病センター 榊原病院 心臓血管外科
帝京大学医学部附属病院 心臓血管外科
手稲溪仁会病院 心臓血管外科
市立函館病院 心臓血管外科
旭川赤十字病院 心臓血管外科
弘前大学医学部附属病院 心臓血管外科
東北大学病院 心臓血管外科
山形大学医学部附属病院 第2外科
群馬大学 循環器外科
埼玉県立循環器・呼吸器病センター 心臓外科
東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科
横浜市立大学附属病院 外科治療学 心臓血管外科
東京医療センター 心臓血管外科
ニューハート・ワタナベ国際病院 心臓外科
東京都健康長寿医療センター 心臓血管外科
災害医療センター 心臓血管外科
静岡市立静岡病院 心臓血管外科
浜松医科大学医学部附属病院 心臓血管外科
JCHO 中京病院 心臓血管外科
名古屋第二赤十字病院・心臓血管外科
名古屋市立大学 心臓血管外科
岐阜大学 心臓血管外科
富士市立中央病院 心臓血管外科
京都第二赤十字病院 心臓血管外科
三菱京都病院 心臓血管外科
大阪市立総合医療センター 心臓血管外科
大阪赤十字病院 心臓血管外科
近畿大学病院 心臓血管外科
奈良県立医科大学 胸部・心臓血管外科学
神戸大学医学部附属病院 心臓血管外科

兵庫医科大学 心臓血管外科
鳥取大学医学部附属病院 心臓血管外科
広島大学病院 心臓血管外科
高知大学医学部附属病院 心臓血管外科
九州医療センター 心臓血管外科
佐賀大学附属病院 心臓外科
社会医療法人 敬和会 大分岡病院 心臓血管外科
済生会熊本病院 心臓血管外科
天陽会中央病院 心臓血管外科
聖隷三方原病院 心臓血管外科
イムス葛飾ハートセンター
市立札幌病院 心臓血管外科
岩手医科大学 心臓血管外科
福島県立医科大学 心臓血管外科
かわぐち心臓呼吸器病院 心臓血管外科
新東京病院 心臓外科
千葉西総合病院 心臓血管外科
聖マリアンナ医科大学 心臓血管外科
横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター
三井記念病院 心臓血管外科
東京都済生会中央病院 心臓血管外科
杏林大学医学部附属病院 心臓血管外科
青梅市立総合病院 心臓血管外科
愛知医科大学 心臓外科
名古屋徳洲会総合病院
大阪市立大学 心臓血管外科
神戸市立医療センター中央市民病院
神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センター
川崎医科大学附属病院 心臓血管外科
福山循環器病院 心臓血管外科
あかね会土谷総合病院 心臓血管外科
徳島大学 心臓血管外科
九州大学病院 心臓血管外科
光晴会病院 心臓外科
宮崎市郡医師会病院 心臓血管外科
旭川医科大学病院 心臓外科
山梨大学 第2外科
済生会山口総合病院 外科
秋田大学 心臓血管外科
名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科

3. 資金と利益相反

本研究は、日本心臓血管外科学会臨床研究助成を資金源として行われます。この研究において、本学への資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に

管理されています。